
Xmas N i g h t ~ 聖なる夜に花束を ~

高田 玄武

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Xmas Night ｝ 聖なる夜に花束を

【Nコード】

N8489C

【作者名】

高田 玄武

【あらすじ】

深山那澄と御陵朔夜は友達以上恋人未満。Xmasの夜、ライトアップされた公園の噴水前で那澄は、朔夜を待つが

第一話 待ちぼうけ

二十六時のベルが鳴る。

アタシ、深山那澄^{みやまなずみ}は中央公園の噴水前で、待ち惚けを食らっていた。

「　　　　　」　　　　　、来れないなら来れないって連絡しろよっ・・・！」

誰にともなく呟く。

・・・まあ、別に期待してたわけじゃないし。そもそもが、互いを束縛しあえるカンケイなわけじゃない。そう望んだのもアタシだ。クリスマスイブだろうがなんだろうが、カンケイない。それはそうなんだけど

「　　　　　」　　　　　あぁもうっ！」

妙に苛ついて、ブーツの先をベンチにぶつける。

彼　御陵朔夜^{みささきさくや}が言い出した。イブの夜、時間が空いたから会わないか、と。別にクリスマスだからって誰かと一緒に居たいわけじゃないかったし、キリスト様の誕生日だかなんだか知らないけど、顔も見たことない他人のバースデーに浮かれてシャンパンを空けるほど、奇特じゃあない。

それでもまあ？特に予定もなかったし、丁度その日はパパとママも揃って外出すって言ってたから二つ返事でOKしたわけなんだけど。にしたって！自分から誘っというすっぱかすたぁ、いーいご身分じゃないのアイツっ！

・・・いやまあ、楽しみにしてたなんてわけじゃないんだけどさ？・・・待ち合わせの時間を二時間過ぎても現れない、クソ憎らしい

アイツの顔を思い浮かべるだけで、腹が立ってくる。

こっちから連絡するのもシヤクだから、TELはしてない。一言くらい文句を言ってやろうと思って、この寒空の下、今まで待ってたアタシもアタシだ。

・・・手がかじかむ。コートのポケットに手を入れて、辺りを見渡すと、やっぱりカップルだらけ。日付は変わって25日。奇特な人間たちで街が埋め尽される今日は、聖クリスマス。

・・・はあ、なんだか虚しくなってきた。

馬鹿馬鹿しい、何がクリスマスだ。ドーせやることはおんなじじゃん。

マフラーを深く巻きなおして、アタシは空を見上げる。

イルミネーションが照らし出す夜空は、どんよりと雲っているようだ。

(・・・雪になるかも。)

と考えつつ、冷えた体と苛立たしきで、もうどうでもいいや、とばかりに噴水の淵に腰かけた。

と、その時、携帯が鳴った。

「もしもし朔夜っ！？アンタね　っ！」

通話ボタンを押した瞬間、アタシはまくしたてた。言いたいことは山ほどあったが、まずは一言、馬鹿野郎と言わなきゃ気が済まなかった。

「深山、那澄さんでしょうか？」

「え？」

朔夜の声じゃなかったことに、アタシは肩透かしを喰らって口籠る。
あれ？でも、着信には『さくや』って？

「あ、はい、深山ですが」

「私、浅川総合病院の津川と申します。御陵、朔夜さんのご友人の方ですね？実は」

・・・電話の相手が何を話しているのか理解出来なかった。

「けで、集中治療室に」

何を言ってるんだこのヒトは。今日はクリスマスで、約束をすっぱかされたアタシは、朔夜に一言文句を

「大変、難しい状態です。ご家族の方に連絡をと」

難しい？ この状況を理解しろってほうがアタシには難しい。

「さん？深山さんっ！？」

「あ、はいっ！？」

「・・・聞こえてらっしゃいますか？とにかく、浅川総合病院までお越し頂けますか？詳しい話は」

「はい。・・・はい、わかり・・・ました・・・。」

・・・電話の内容は、ほとんど覚えてない。アタシは、促されるま

ま、気が付いた時にはタクシーを拾い、病院へと向かっていた。

第一話 待ちぼうけ（後書き）

続きが気になりましたら、投票をお願い致します。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8489c/>

Xmas N i g h t ~ 聖なる夜に花束を ~

2010年10月20日16時43分発行